



チェコセンター東京で開催されている展覧会「チェコ・デザインの今」に足を運んでみた。チェコといえば繊細なガラス工芸や、伝統的な磁器が思い浮かぶが、伝統的な手法と現代的なデザインが融合された作品や、若手のデザイナーが提案する観賞だけでなく実用できる作品などが展示されていた。同センターのヤナ・クデロバーさんに、流暢な日本語で丁寧な解説を聞かせていただいたので、気になった作品をここで紹介したい。



金属を加工しているのかと思いきや、磁器の壁飾り。
<http://www.pirsc.cz/>



盆栽をイメージしたガラスのジュエリーボックス。
<https://veronikawatzkova.com/>



伝統的なモチーフ「ブルーオニオン」をもちいたコーヒーセット。
<https://www.cesky.porcelan.cz/en/products/bohemia-cobalt-design-prof-arch-jiri-pelcl>



手前の幼子は磁器のキャンドル・スタンド。最初は不気味に感じたが、妙に気になり目が離せなくなる。奥の長靴は磁器の花瓶。
<http://www.qubus.cz/>

我が家にあるチェコ製品はガラスの爪やすり。10年以上愛用しているが、驚くほど滑らかに削れてお薦めの一品。やはり実用性も高いのである。

(JOI調査員 猪俣)

チェコセンターでは、絵画、写真、ガラス工芸、デザインなどの作品の展示や、映画上映会、文学、音楽、経済などのイベントを通じてチェコ文化を紹介している。また、館内には図書閲覧コーナーもあり、チェコ語教室も開講している。

チェコセンター東京

東京都渋谷区広尾2-16-14 チェコ共和国大使館内

<http://tokyo.czechcentres.cz/>

